



研修は、①日本の研究機関での研修、②農業施設や研究施設の見学、③気象研究所 GCM からのダウンスケールと脆弱性検討の実習、の3部で構成しました。

- ・ 気象研究所
- ・ 独立行政法人海洋研究開発機構（JAMSTEC）
- ・ 独立行政法人農業環境技術研究所（NIAES）
- ・ 筑波大学
- ・ 独立行政法人土木研究所水災害・リスクマネジメント国際センター（ICHARM）

- ・NOSAI 中越（日本米作地の現地視察）
- ・気候変動解析施設（スーパーコンピュータ「京」：理化学研究所）
- ・京都大学宇治川オープンラボラトリー

- ・ 気象研究所の気候モデル GCM データのハンドリング・気象データの抽出
- ・ 脆弱性評価のインデックスの計算
- ・ 農業生産データとの相関解析
- ・ 過去の再現、近未来の予測、将来の予測

短期間の本邦研修で脆弱性評価に関する全ての技術が習得されることはありませんので、引き続き、短期間のインドネシア現地での研修等を実施し、フォローアップを継続する予定です。

(気象業務支援センター振興部)



JICA つくば研修センターでの講義



理化学研究所(スーパーコンピュータ「京」)の見学



BMKG 研修員と研修関係者